

応援メッセージ Part2



お笑い芸人

カンニング 竹山 隆範 (たけやま・たかのり) さん

現場で働いている作業員の方には 感謝の気持ちでいっぱいです

2016年に1Fを訪れました。実際に行ってみると、行く前とは180度印象が変わりました。大勢の人が働いていて、女性の方も結構いる。笑いも活気もあって、普通の工事現場と何ら変わらなかったですね。その様子をツイッターで発信したら、さまざまな批判にさらされましたが、自分の目で現場を確認できたことは本当によかったと思います。

ですが実際、原発に対しては、さまざまな意見があるのは当然です。でも、作業員の方が汗を流さなければ、廃炉作業は進まない。これも事実だと思うんです。

原発は、いつかは廃炉にしなければなりません。1Fは今まさにその問題に取り組んでいる。現段階で廃炉技術はおそらく一番発達した場所でしょう。この技術がいずれ世界に広がっていく。その拠点が1Fなんだと思います。そんな中で日々、働いている作業員の方には感謝の気持ちでいっぱいです。

私の健康法...【第2回】

健康は仕事や日々の生活の基礎になるといっても過言ではないもの。
このコーナーでは、1Fで働くみなさんにお聞きした健康法を紹介していきます。



ウツエバルブサービス株式会社
放射線管理グループリーダー
放射線管理責任者(1F)
井出 正人さん

私の健康のもととは自作の梅酢です。体調が悪いときや飲みすぎたときに、これを飲めば効果きめん。気分がすっきりします。作り方は親戚のおばさんに教えてもらいました。毎年、梅の実が出回る5月から6月初めに、梅2kg、氷砂糖1kg、酢500ccを梅酒の瓶に入れる

だけです。2、3カ月ほど部屋の隅に置いておけば、梅から水分が出て飲めるようになります。いわば梅酒のノンアルコール版ですね。コップに入れて、水かお湯で割って飲んでみます。この梅酢を10年ほど飲み続けていることが、私の健康のもとですね。



1F●R
ALL JAPAN

廃炉のいま、あした

ウェブサイトの紹介
<http://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



月刊いちえふ。
2017年3月号

【発行日】2017年3月10日
【発行】
1 FOR ALL JAPAN 事務局
(東京電力ホールディングス SC室)
【お問い合わせメールアドレス】
info@1f-all.jp

ウェブサイトはこちら!



福島第一原子力発電所で働く
みなさんへのお知らせ

月刊 いちえふ。

2017年



3月

増田CDO※からのメッセージ

震災から6年が経過しましたが、1Fはみなさんのおかげで通常の現場に近づいてきました。日頃のみなさんの努力に御礼申し上げます。

特に労働環境の改善は目覚ましく、構内の約90%で一般作業服での作業が可能となり、現場で線量を確認できるようになりました。線量を見て適正な装備で作業にのぞんでください。

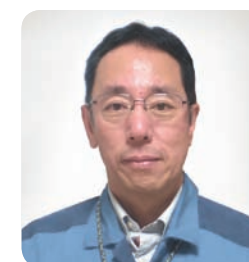
今後は、1号機ガレキ撤去、2号機PCV内口ボット調査、3号機使用済燃料取り出し用カバー設置など、具体的な廃炉に向けた作業になります。

あの日から避難されている方々の帰還や地元の復興に向けて、1Fでの取り組みを迅速に

わかりやすくお伝えすることが、より重要になってきます。

1Fで働く6000人で力を合わせて、廃炉を着実に進めていきましょう。

ご安全に!



増田 尚宏 CDO

※CDO: Chief Decommissioning Officer(廃炉・汚染水対策最高責任者)

内田所長からのメッセージ

今年度は昨年度に比べて災害が大きく減少しました。これは日々の方々の安全に対するご努力のたまものです。引き続き現場の5Sを徹底し、安全意識を高く持って作業に取り組んでください。

現場の労働環境はかなり良くなりましたが、まだまだご不便をおかけしているところもあります。今後もできる限り改善に取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

今後数十年かかる廃炉を着実に進めるため、今年は生産性の向上に本格的に取り組みたいです。作業のムダを省き、標準化する

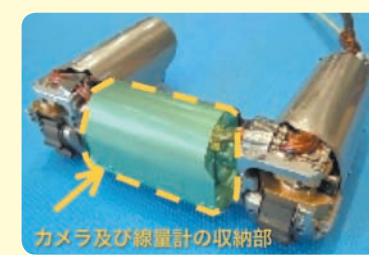
ことで、生産性の向上だけでなく、安全性の向上にもつながります。みなさんのご協力をお願いします。

ご安全に!



内田 俊志 所長

いちえふのいま



自走式調査装置

協力企業棟の運用が始まりました

協力企業棟の使用開始によって、これまで以上に1Fが一体となって廃炉作業を進める環境が整いました。燃料取り出しに向けた準備も進んでいます。1号機では、3月に自走式装置を原子炉の内部に入れて調査を開始。2号機では、2月に行った原子炉内部の調査をもとに今後の方針を検討します。3号機では、原子炉建屋の上にFHMガーダー(鉄骨)の設置を開始します。



女優

秋吉 久美子 (あきよし・くみこ) さん

現場で働く作業員の方への 感謝と労りの気持ちを持ち続けます

復興にはソフトとハードという2つの側面があると思います。ソフト面は私が務めた東北未来がんばっぺ大使のように全国の人に正しい情報を伝えたり、地元の人に寄り添って応援していく活動です。一方のハード面は除染作業などインフラを整えるための活動です。この中で最も大変な作業が、廃炉作業なのではないでしょうか。そこは6年間で改善されつつも厳しくて勤勉さが問われる「現場」なのだと思います。

作業員は福島県の方が多く聞きました。自分たちの生活の不安がある中で、重要な作業に従事する大変さ、冬の寒さや夏の暑さに身を置く大変さ、現場で作業する人たちの苦労は計り知れないものがあると思います。そんな1Fで働く作業員の方に対して何ができるのか。一日一回でもいいから、廃炉に向けた作業に汗を流す現場の人の思いを感じ、感謝と労りの気持ちを持続ける。それが、私なりの応援の仕方です。

これからも全員で心をひとつに がんばっていきましょう！

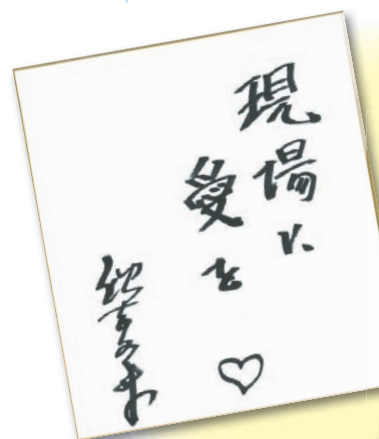
1Fで働くみなさん、いつも大変ありがとうございます。
毎日、みなさんの安全、ていねいな仕事のおかげでプラントは安定し、いよいよ本格的な廃炉に向けた工程に進んできました。
これからも先は長く、みなさんのお力が必要です。職場の安全と地域のみなさまの安心のため、1Fで働く全員で「心をひとつに」がんばっていきましょう！

東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長

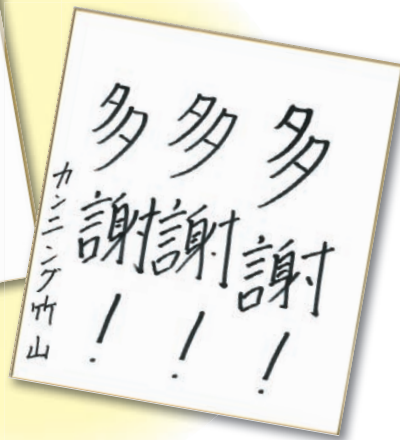
廣瀬 直己 (ひろせ・なおみ)

応援メッセージ Part1

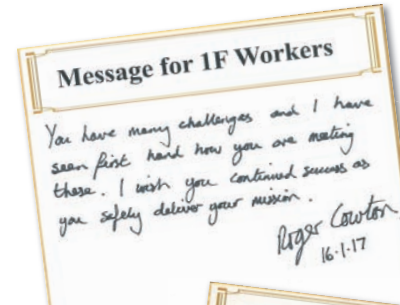
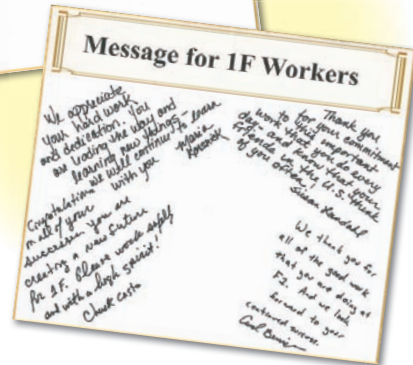
応援メッセージをいただきました！



秋吉 久美子さん



竹山 隆範さん

海外有識者の
みなさんより

みなさんからの応援メッセージは以下のURLからご覧いただけます。

<http://www.1f-all.jp/messages/>

廃炉作業が一步ずつ進んでいる ことに心より感謝しています

1Fで働く作業員のみなさん、いつもありがとうございます。
みなさんのご協力・がんばりのおかげで、一步ずつ、着実に廃炉作業が進んでいることを心より感謝しています。
1Fの廃炉は「福島復興の原点」です。震災から丸6年を迎え、また今年の春には、浜通り地域の避難指示解除がさらに進む見通しです。

復興本社もご帰還を目指す福島のみなさまのため、福島復興のために全力を尽くしてまいります。
これからも廃炉作業の安全・着実な進捗にお力をぜひお貸しください。

東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社 代表

石崎 芳行 (いしざき・よしゆき)



いちえふ

1F桜開花予想

昨年、震災以前に実施していた「桜の開花予想」を再開いたしました。約260件ご応募いただいたことから、今年も開催します！入退域管理施設から桜並木を眺めていただける季節ですので、たくさんのご応募をお待ちしています。



桜の基準木



震災以前の桜並木



開花した状態

入退域管理施設に一番近い桜
(桜並木の一番入退域管理施設側の桜)

以下の5つの週のうち、写真の「基準木」の開花がいつになるか予想してみてください！

① 3/18(土)～3/24(金) ② 3/25(土)～3/31(金)

③ 4/1(土)～4/7(金) ④ 4/8(土)～4/14(金)

⑤ 4/15(土)～4/21(金)

開花の基準：3輪以上が上の写真のように咲いたら開花とします



いちえふ。

ぜひみなさん楽しみながら
予想してみてください



▶ 応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通用口にある応募箱に
必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 3月13日～3月20日

※応募用紙は応募箱横に設置しています。
※当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
※答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

▶ 今号のプレゼント

福島名産のお菓子の詰め合わせです。
※賞品は写真と異なる場合がございます

